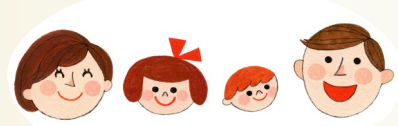




# えこちるっこ！ ふくおか



—第15号 2015年春—

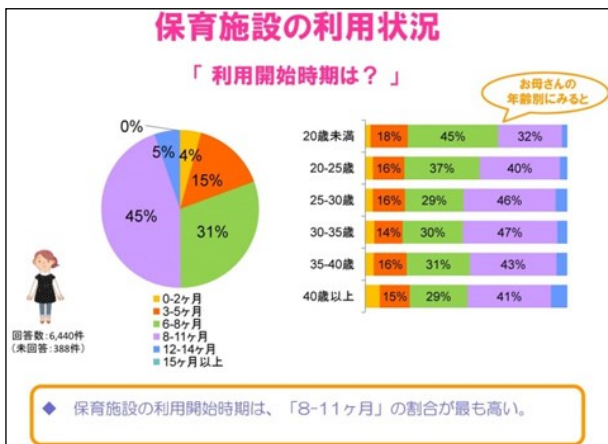
## エコチル調査にご参加のみなさまへ

エコチル調査にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。  
エコチル調査に参加していただいているお母さんは現在10万人、お父さんは5万人を超え、またお子さんの数は9万8千人を超えています。  
これもみなさまのご協力のおかげです、心より感謝申し上げます。

さて、今回はエコチル調査で集計されたデータの中から、出産後の保育施設の利用状況と就労についてご紹介いたします。これらは、第3回エコチル調査国際シンポジウムで公開され、2013年10月15日までに登録された全国の2万5千人以上のデータを用いて集計されたものです。

福岡ユニットセンター  
にご登録の参加者数  
(H27.3.31現在)

**7,691名**



(図1 保育施設の利用状況)

お子さまが1歳の時点で、お母さんの約4分の1が保育施設を利用されています。その利用開始時期で最も多かったのは、図1のように8～11か月時で、その次に6～8か月時でした。年齢が若いお母さんほど、早くから保育施設を利用する傾向があるようです。

また、1週間の労働時間については、図2のように週40時間以上働いているお母さんも約2割おられる、という結果が得られています。

さらに、図3のようにお母さんの約4割は仕事に就いており、雇用形態としては常勤が多く、パート・アルバイトがそれに続いています。

## すくすく えこちるっこ！ ふくおか

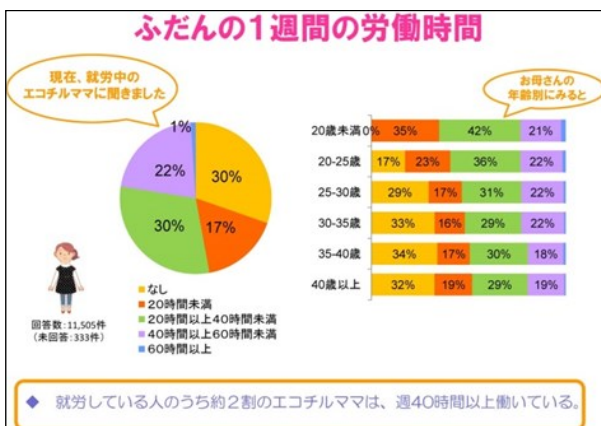


平成27年4月15日発行

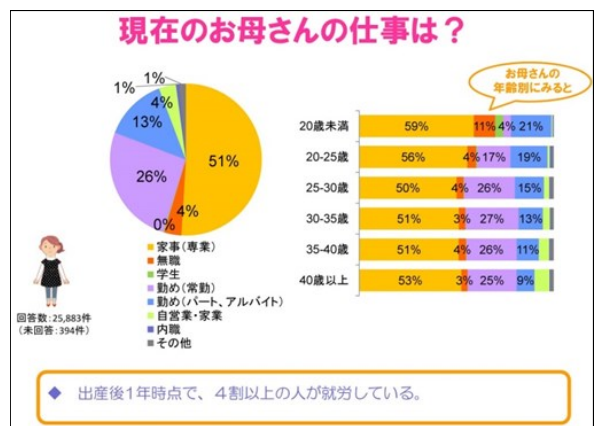
エコチル調査の目的は、「生活環境の中にある化学物質が子どもの成長にどのような影響を及ぼすか」を調べることですが、子どもの生活習慣だけでなく、お母さんをはじめとした周囲の方々の情報も広く調査されます。

このような情報は、子どもの成長とは一見無関係のようですが、間接的にも何らかの影響を与えている可能性があります。今後研究の結果をきちんと出していくためには必要な情報となります。

子どもたちが健やかに成長できる未来のために、今後もエコチル調査にご理解とご協力をお願い申し上げます。



(図2 1週間の労働時間)



(図3 お母さんの就労状況)



## こどもの病気の基礎知識 ～麻疹（はしか）～

平成27年3月27日、厚生労働省は麻疹（はしか）について、世界保健機関（WHO）から日本が国内に土着のウイルスがない「排除状態」にある認定を受けたと発表しました。

近年、国内では年間200～500人程度の麻疹（はしか）患者が報告されていますが、いずれも海外から持ち込まれたウイルスが原因であり、日本に土着するウイルスによる麻疹（はしか）の感染が3年間確認されなかったため、日本では初めての快挙であります。

かつて日本は麻疹ウイルスの輸出国でした。2007年より、10～20代の若者を中心に全国的に流行し、2008年にアメリカで行われた少年野球の世界大会で、日本チームの少年が麻疹を発症し隔離されたのは当時世界的なニュースになりました。

2008年に患者数が1万人を超えたことから、厚労省では通常ならば1歳時と小学校入学前のワクチン接種を、2008年からは5年間を期限として、中学1年生と高校3年生にも対象を広げて実施しました。この結果、国内で報告される患者数は徐々に減り、2014年には463人まで減少、今回の認定となりました。

麻疹（はしか）は麻疹ウイルスによって起こる、急性熱性発疹性のウイルス感染症です。感染力が大変強く、命にかかわる合併症を引き起こすことがあります。ウイルスは人から人へ空気感染し、潜伏期間約10日を経過後、熱と鼻水、せき、目やになど風邪に似た症状で始まります。その後3、4日ほどで熱は一旦下がりますが、およそ半日後に再び熱が上がり（二峰性発熱）、同時に赤く少し盛り上がった発疹が体中に現れます。二峰性発熱は39℃以上になり、一度目の発熱よりも高くなることが多いです。

麻疹（はしか）に伴ってはさまざまな合併症がみられ、その割合は30%にも達すると言われています。合併症としては、中耳炎や気管支炎、肺炎が挙げられます。さらに、1,000人に1人の割合で脳炎を合併し、肺炎と並んで麻疹による2大死因と言われており、注意が必要です。

ウイルスを倒す抗ウイルス薬がなく対症療法しかできないため、予防が重要となります。

MR（麻しん風しん混合）ワクチン（定期接種・生ワクチン）で予防します。

2回の接種が重要で、1歳と小学校入学前（年長時）になります。

上記のように、このたび日本は「排除状態」と認定されましたが、空気感染する感染力の強いウイルスのため、海外から持ち込まれたウイルスに感染する可能性は十分にありますので、忘れないように2回の予防接種を受けましょ



## 事務局からのお願い～お手元に質問票はありませんか？～

お手元に以前の質問票をお持ちではありませんか？

直近にお送りした質問票よりも前にお送りした質問票をまだお持ちでしたら、今からでも構いません、可能な範囲で当時を思い出してご記入いただき、ぜひご返送をお願い致します！！

**Q. 質問票（返信用封筒）をなくしてしまった、汚してしまった・・・**

A. 下記フリーダイヤルまでご連絡ください。すぐにお送りいたします。  
（ひとつの封筒に複数の質問票を入れてご返送いただいてもかまいません。）

**Q. 転居の場合はどうしたらいい？**

A. 質問票に同封されている「登録内容変更届」をご返送いただくか、お手数ですが下記フリーダイヤルまでご連絡をお願い致します。

### ～フリーダイヤルをご利用ください～

ご登録内容の変更など、みなさまからのご連絡は下記フリーダイヤルまでお願いいたします。  
また、事務局からみなさまへご連絡をさせていただく際にもこの番号からおかけしますので、ぜひご登録をお願い致します。

【九州大学エコチル調査事務局フリーダイヤル】

**0120-155-539**

（※携帯・PHSからもご利用になれます。）

■発行

九州大学エコチル調査事務局内  
すくえこ編集部

〒812-8582

福岡市東区馬出3-1-1

九州大学コラボステーションⅡ701

TEL：0120-155-539

（フリーダイヤル：携帯・PHS  
からもご利用いただけます）

